

報道関係者各位

令和4年12月9日
感染症対策センター感染症対策企画グループ
感染症対策企画監 植村 武彦
電話 055-223-1321(内線1405)

保育所における感染性胃腸炎の集団発生について

富士・東部保健所管内の保育所において胃腸炎症状を有する者が複数発生したため、調査・指導を行いました。その概要は次のとおりです。注意喚起のために情報提供します。

【調査状況】

○施設の種別	保育所	
○発症者の状況	園児	26名
	職員	0名
	計	26名

※主な症状:嘔吐、下痢、発熱

○発症状況(12/9 11:00 時点)

	11/24	11/25	11/26	11/27	11/28	11/29	11/30	12/1
園児	1	0	0	0	0	0	2	2
職員	0	0	0	0	0	0	0	0
	12/2	12/3	12/4	12/5	12/6	12/7	12/8	合計
園児	2	1	4	2	6	3	3	26
職員	0	0	0	0	0	0	0	0

○調査・指導結果

発症者6名の検便を実施したところ、5名からノロウイルスが検出された。

富士・東部保健所では、検便結果及び発生状況から、施設内でのノロウイルスによる集団感染と判断し、二次感染予防の指導を実施した。

【指導内容】

手洗いの徹底、施設内の消毒、園児・職員の健康管理等の感染拡大防止指導

【参考】

毎シーズン、初めての集団発生事例を公表している。

昨シーズンの公表は、9月30日。

感染性胃腸炎の予防対策

●感染性胃腸炎はどんな病気？

- ✓ 一年を通して発生しますが、冬は特に患者が増加します。
- ✓ 主にノロウイルスの感染により発症します。
- ✓ 手指や食品を介して経口感染します。
- ✓ 主な症状は、おう吐、下痢、腹痛です。
- ✓ 子どもやお年寄りには重症化したり、おう吐物を誤って気道に詰まらせて死亡することがありますので注意が必要です。

●治療方法は？

- ✓ 抗ウイルス剤はありませんので、対症療法となります
- ✓ 水分と栄養の補給を充分に行いましょう。
- ✓ 脱水症状がひどい場合には早めに病院を受診しましょう。

●予防方法は？

- ✓ 特に、調理の前、食事の前、トイレの後には、しっかりと手を洗いましょう
- ✓ 患者のおう吐物や便には大量のウイルスが含まれておりますので、2次感染を防ぐため、おう吐物、おむつなどの取り扱いには十分注意して下さい。
- ✓ 調理の際は、中心部までしっかり火を通しましょう。

●おう吐物の処理方法は？

- ✓ おう吐物はビニール手袋、マスクを着用して処理しましょう。
- ✓ 消毒にはアルコールでは不十分なので、市販の次亜塩素酸ナトリウムを適切な濃度で使用して下さい。
- ✓ 処理後はしっかりと手を洗いましょう。